保健体育科学習指導案

広島県立高陽高等学校

教諭　池田　晋也

【本学習指導案のポイント】（スポーツ振興課指導主事　光橋　健）

　協働的な学びの中で，生徒が学びを深めるためには，教師がどのような働きかけや手助けをするかが重要である。本実践では，アクティブ・ラーニングの手法の一つであるジグソー法を取り入れ，生徒が学習に参加しやすい構造を教師が意図的に準備し，生徒の能動的な学びを引き出している。また，学習内容を既有の知識や経験に関連付けることを強調することで，生徒の深い学びを引き出そうとしている優れた事例である。

**１　日時・場所**　　平成28年11月8日（火）

**２　学年・学級**　　１学年7組

**３　単元名**　　　　保健　(１)現代社会と健康　　ウ　精神の健康　　(ア)欲求と適応機制

**４　単元について**

* 単元観

「欲求と適応機制」においては，精神機能は主として大脳によって統一的・調和的に営まれていることを理解できるようにすること，特に，人間には様々な欲求があり，欲求が満たされない時には不安，緊張，悩みなどの精神の変化が現れるとともに様々な適応機制が働き，精神の安定を図ろうとするということを理解できるようにする。

* 生徒観　　省略
* 指導観

基礎的知識・技能をもとにそれらを結び付けて考察・判断し，より深い学びを主体的に実践する学び（本校の目指す生徒像）を実現させたい。

**５**　**単元の目標**

 ・精神の健康について関心を持ち，課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。(関心・意欲・態度)

・精神の健康について，学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり，予測したりし，今後の生活での活かし方を展望できるようにする。(思考・判断・表現)

・人間の欲求と適応機制には，様々な種類があること，精神と身体には，密接な関係があること，また，精神の健康を保持増進するには欲求やストレスに適切に対処するとともに，自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解し,説明できるようにする。(知識・理解)

**６　単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 知識・理解 |
| 1. 欲求と適応機制，心身の相関，ストレスへの対処，自己実現について，資料を見たり，読んだり,まとめたりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
2. 欲求と適応機制，心身の相関，ストレスへの対処，自己実現について，課題の解決に向けての話合いや意見交換，発表会などの学習活動に主体的に取り組もうとしている。
 | 1. 欲求と適応機制，心身の相関，ストレスへの対処，自己実現について，資料等で調べたことを，個人及び社会生活や事例と比較したり，予測したり,発表に向け表現を工夫したりしている。
2. 欲求と適応機制，心身の相関，ストレスへの対処，自己実現について，学習したことを基に自分の考えを導き出し,今後の生活での活かし方を展望している。
 | 1. 人間の欲求と適応機制には，様々な種類があること，精神と身体には，密接な関連があること，精神の健康を保持増進するには，欲求やストレスに適切に対処するとともに，自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解している。
 |

****

****